

LEARNING INNOVATION  
AWARD 2021 開催後レポート

ラーニングイノベーションアワード



育成カテゴリー部門  
新人・若手育成の部

株式会社 K GRIT

事業 ①建設業 ②不動産業 ③ホテル業  
<https://www.kgrit.co.jp/>

利用サービス

ビジネス感度向上パック  
Biz CAMPUS Online

## 施策概要

現場巻き込み型育成施策を推進し、新入社員のスムーズな立ち上がりを実現

## | 取り組み前の背景・課題

2021年に創業100周年を迎えた株式会社 K GRIT は、数年前より事業の多角化とブランディングを推進してきた。事業の多角化にあたって多くのリーダーが必要となり、早期からのリーダー育成が求められていたものの、現場では新入社員・中途入社社員の離職率の高さが問題となっていた。そこで、入社時のリアリティショックを防ぎ、事業多角化を進められるリーダーとして育てるために、取り組みを強化することとした。

## 取り組み内容

## 1 フレッシューズキャンプ

新入社員入社後の1年間、月1回の勉強会を社長主催で実施。社会人としてのマインドを醸成するほか、リーダーシップ・マーケティング・アカウントティングなど事業多角化を進めることができるリーダーとして必要な知識を学び、最終回で1人1つ新規事業案を発表する。

現場の先輩社員から勉強会の講師や新人が作成したレポートの添削等を行う育成担当の選定を行っており、現場巻き込み型で施策を進めている。

## 2 里親制度

「里親と里子」というペアをつくり、ペアごとに月1時間の対話を実施。子にとっての親のような、絶対的に信頼できる相談相手(=里親)を社内につくることを狙いとし、里親は里子に対して会社に馴染めるよう支援したり、目標の達成をサポートしたりしている。本制度は、新人だけでなく全社員を対象としている。

## | 取り組みの効果

フレッシューズキャンプでは、社長が1年間新入社員と接することで相互理解が深まり、新入社員の会社に対する帰属意識が向上した。また、別々の職場に配属された後も同期の「横の繋がり」が醸成され、お互いにサポートしあう関係ができた。

里親制度では、里親・里子間の「縦の繋がり」をつくることで離職者が減少。また、里親によるサポートがあることで、社員自らが目標を設定し、

実行する風土が醸成された。各種資格の取得者が増加していることも取り組み効果の一つである。

各施策を行うことで得られる大きな効果として、運営側を担う先輩社員の成長も挙げられる。フレッシューズキャンプへ講師として登壇する経験、課題レポートへの添削業務、里親として相談にのる経験などが、先輩社員の当事者意識の醸成や、後輩指導力の向上に繋がっている。

